

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ
問合せ窓口 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	開発環境	発行番号	TN-EML-115A/JA	Rev.	第1版
題名	H8SX/1650 E6000H (HS1650EPH60H)における短絶対アドレッシング参照の不具合について		情報分類	使用上の注意事項	
適用製品	HS1650EPH60H		対象ロット等	関連資料	H8SX/1650 E6000H エミュレータ ユーザーズマニュアル (RJJ10B0039- 0100H Rev.1.00)
	SERIAL No.0001 ~ 0044				

弊社製品をご使用いただき厚く御礼申し上げます。

H8SX/1650 E6000H (HS1650EPH60H)において、下記条件の場合にアドレス条件設定が正常に認識されず エミュレーション結果が異なる場合があることが判明しましたので、以下、不具合内容をご連絡致します。

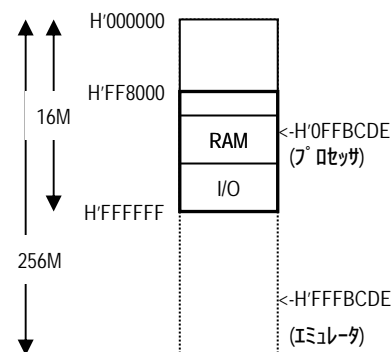
【条件内容】 以下のすべての条件を満たすエミュレーション実行時に不具合が発生します。

- (1) 絶対アドレス 16 ビット(@aa:16)アドレッシング参照によるデータアクセスのあるプログラム
- (2) アドレス H'FF8000 ~ H'FFFFFF へのリード/ライトアクセス
- (3) 上記アドレス範囲のオンエミュレータブレーク設定、トレース情報表示、トレース情報取得条件設定、領域アクセス回数パフォーマンス測定条件設定 またはモニタ機能設定をした時

なお、コンパイラの最適化機能設定において、16 ビット短絶対領域参照を抑止指定(*1)しない限り、通常、内蔵 IO や内蔵 RAM へのアクセスに上記(1)(2)がよく使用されますのでご注意願います。

*1: abs16 オプション、#pragma abs16 指定、モジュール間最適化ツールでの抑制指定により設定可能です。

(例) H'0FFBCD0 ~ H'0FFBCFF をモニタ設定し、MOV.W R1, @H'FFFBCDE:16 をエミュレーション実行した場合、内蔵 RAM H'0FFBCDE への書込みが実行されます。しかし、H'0FFBCDE への書込みがエミュレータではモニタされません。エミュレータでは H'FFFBCDE と認識されており、トレースバスサイクル表示のアドレスも H'FFFBCDE と表示されます。なお、H'FFFBCD0 ~ H'FFFBCFF をモニタ設定すると上記アクセスがモニタされます。



【対策】

本技術資料に記載されている対象の製品につきましては弊社にてハードウェアの無償修理を行います。ルネサス製品購入時の営業窓口経由で御連絡くださいますようお願い致します。(株)ルネサスソリューションズ品質管理部(電話 042-320-7300 自動交換/内線:2845)にて修理致します。

また、弊社営業窓口が不明な場合はお手数ですが下記弊社HPからお問い合わせ下さい。

http://www.renesas.com/jpn/contact/form_a.html

尚、本不具合対策実施後は エミュレータハードウェア Rev.が Rev.G となります。

注：SERIAL No.については、E6000H 本体部のリアパネル下部に貼り付けてあるラベルに記載しております。

MODEL	HS1650EPH60H	
SERIAL No.	WS <u>xxx</u> F	← エミュレータハードウェア Rev.
DATE	200x.xx	← 対象ロット：SERIAL No. 0001 ~ 0044
	MADE IN JAPN	

- 以上 -